

日本医療大学 第6回講演会『命』を開催

12月6日(金)日本医療大学第6回講演会『命』を開催しました。「ホスピスのこころー医療者として人としてー」と題して医療法人徳洲会 札幌南徳洲会病院 総長の前野 宏 氏に真栄キャンパスと恵み野キャンパスで講演をしていただきました。

①「ホスピスのこころ」について、②「寄りそう」ということ、という2つのテーマを中心に、貴重なお話を聞くことができました。学生たちは恵み野キャンパスで70人、真栄キャンパスで120人の学生・教職員が参加し、将来の医療人として、1人の人間として大切なことを学びました。



18番目の学内団体「スケート部」がスタート

今年度、新たな学内団体として「スケート部」がスタートしました。代表の清水さんからのコメントを掲載します。

「スピードスケート競技大会に参加しています」

リハビリテーション学科 理学療法専攻1年
清水 悠希

スピードスケートは、冬のスポーツとして一般の方々にはあまり身近な感じではないですが、オリンピック競技では花形種目の一つでもあります。

私は小学一年生の頃からやっています。高校3年次では、インターハイでの入賞経験もあります。

練習は冬季には氷上・陸上トレーニングを、夏季にはショートトラックでの練習や陸上トレーニングを行います。

試合は、日本学生氷上競技選手権大会や全日本ジュニア選手権などに出場予定です。試合と試合の間がある場合は自ら改善点を見つけ、さらに修正し次の試合に挑んでいます。寒中で練習したり、試合に挑んだり辛いことも多いですが、ベストタイムが出た時には、とても嬉しく、タイムがまだまだ伸びるという想いが出てくるのでやめられません。



難関を突破!

診療放射線学科の6人の学生が、8月に実施された第一種放射線取扱主任者試験(国家試験)に合格いたしました。今年度の全国合格率は23.5%だったそうです。おめでとうございます。

- 4年生 花田幸奈
- 3年生 荒川馨大、岩上和輝、岡部映里奈、峯山昂大
- 2年生 小林昂平

第一種放射線取扱主任者試験って?

公益財団法人原子力安全技術センターが試験を実施している国家資格の1つです。試験科目は法令、実務、物理学、化学、生物学で、それぞれの科目の得点5割以上、全試験科目の総合得点6割以上が合格基準となっています。



日本医療大学キャンパス通信
学生委員会が発行する
日本医療大学の「今」を伝えるニュースレター

no.23・24

2019.12.20 発行



2021年4月移転



新しい校舎には学生委員会がこの6年間実施してきた学生アンケートの「この大学にあつたらいいと思う施設や設備」の質問への回答が実現しています。事務局では1・2年生の皆さまへの説明会を既に開催し、保護者懇談会でも説明をしていますが、改めて新キャンパスの魅力について大学事務局にインタビューをしました。

Q. 具体的に学生の希望を取り入れてどのような施設・設備ができるのですか。

A. 大手コンビニやATM、広い食堂(750席!!)、フィットネスジム等でしょうか。

Q. 駅に近いと聞きましたがどのくらいの距離ですか。

A. 地下鉄東西線南郷13丁目駅から徒歩10分、東豊線福住駅からは15分です。今の恵み野駅から恵み野キャンパスまでの距離と同じ程度ですね。

Q. 大学の校舎以外にどのような施設ができるのですか。

A. 日本医療大学病院ができます。診察科目は一般内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、リハビリテーション内科で、専門外来として「ものわすれ外来」が設置されます。入院は92床です。

Q. 移転の時点で現在の1,2年生がしておくことはありますか。

A. アパート等で1人暮らしの学生は賃貸契約内容や転居等について不動産会社・家主に事前に確認しておきましょう。また現在許可制により実施している自動車通学を新キャンパス移転後廃止しますので留意をお願いします。



真栄キャンパス玄関に設置された工事現場のLive中継映像、日々建設が進む様子が確認でき、期待が高まります。

第6回 日本医療大学体育大会

第6回 日本医療大学体育大会が、6月6日、北海道立総合体育センター（北海きたえーる）メインアリーナで開催されました。種目はバスケットボール、バレーボール、ドッジボール、綱引きで、280人の学生が赤・白・黄・青のチームで優勝を争いました。



今年も学生達による白熱した体育大会となりました。

学生委員会からのお知らせ

日本医療大学の体育大会も6回目を迎えました。創設の最初の年は小さなアリーナで実施し、参加者にお弁当等を用意しましたが翌年はカロリーメイトの配布、さらに飲み物のみの配布へと経費を削減しました。会場は設置学科が増え、参加学生も増加したため、あこがれのメインアリーナを一日借り切って実施するようになりました。

もりあがる会場設定であるため、競技は年々熱を帯び、けがをする学生も増えています。今年のはべ10人（看護6人 診療放射線1人 リハビリテーション3人）の学生が救護室に運び込まれました。数は例年並ですが、眼球打撲で救急車を呼び、病院に搬送された学生もいて、結果的には軽傷で済みましたが、ほかにも鼻血、貧血、過呼吸、発熱、関節補強のためのアイシング、テーピング、休息対応などは毎年起こります。保健室の先生やリハビリテーション学科の先生方が毎年待機してくれていますが、ぜひ参加学生は当日の体調管理に留意しましょう。学生委員会では来年の実施に向けて、アリーナの予約を既に行いました。新キャンパスへの移転に伴い、開催場所の変更も視野に入れ、メインアリーナで行う最後の体育大会になるかもしれない第7回体育大会の準備は既に始まっています。

海外渡航体験談

夏季休暇中の海外渡航の学生は12人。文部科学省からは学生の海外渡航時の留意事項が示されていますが、その中に渡航期間の連絡先を必ず大学に伝えていくことが掲載されています。本学では出発2週間前までに海外渡航届けを提出することを学生にお願いしています。冬季休暇は家族旅行で、春季休暇は短期留学等で渡航する学生がいますので海外渡航届けを必ず提出してください。

リハビリテーション学科3年 伊澤 琉奈・東 尚輝

2019年8月25日～9月3日にCBRサークルはネパールへスタディツアーに行ってきました。主な活動は現地の病院・施設見学、車いすの寄付です。

リハビリテーション科のある病院2件と理学療法士養成校、脊椎損傷センターの4施設を見学しました。車いすは2台寄付させていただいたうちの1台は直接渡すことができ、実際に生活している住宅を見学しました。

発展途上国であるネパールの生活は貧しく、インフラも十分ではありませんが人々の心はとても幸せに溢れていました。今回の経験を今後の学生生活や理学療法士として社会に出た際に生かしていきたいと思えます。



向かって一番左が引率の木原先生、その隣が東くん、センターのスタッフを挟んでピンクの服を着ているのが伊澤さん



車いすを9カ月待っていたインドゥカさん（前列右から2番目）後列一番左が東くん、右端が木原先生、前列右端が伊澤さん

診療放射線学科1年 堀田 莉沙

フランスに渡航して感じたのは、人々は、庭や家を自分たちで工夫して生活を楽しんでいて、中心部の家は、外側はそのままで内側だけリフォームして生活しやすくしている、ということです。

フランスの人々は、一人一人が歴史を受け継ぎ、その歴史を次代に伝えていき文化を発展させているのだと感じました。

写真は美しいオンフルールの港、フランスらしい景色です。



看護学科1年 江口 汐里

台湾旅行に行き、いままで学習していた英語の発音が日本人は曖昧だということが分かりました。台湾の方たちは日本語よりも英語を私達に話して会話をしようとしていました。

しかし私達の発音はなかなか聞き取りにくく、通じないことが多々ありました。なので、カタコトの英語にならずにきちんとした英語の発音を身につけて、会話を成立させていこうと思いました。

九分老街にある建物で千と千尋の神隠しの舞台となった場所といわれているところです。



2019年 学生アンケート結果

毎年実施している学生委員会アンケートの結果を報告いたします。今年度は720人の学生がアンケートに協力してくれました。今年からWeb入力的方式で行っていますが、ほとんどの学生がスマートフォンを携帯していると考えこの方式での実施に踏み切りました。そうした端末を持っていない学生のためにはプリントした調査票も用意をして記入をしてもらいました。今年の報告は過去6年間の数値の変化を中心にお伝えします。

2019 Campus Data 一人暮らし率

		2014	2015	2016	2017	2018	2019
一人暮らし率	真栄キャンパス	22.1%	23.6%	25.1%	38.5%	30.6%	30.2%
	恵み野キャンパス		40.4%	51.3%	40.2%	41.1%	49.8%
	合計	22.1%	27.6%	35.0%	39.1%	34.3%	31.5%

やはり例年に増して恵み野キャンパスの一人暮らし率が高く、今年の結果は2人に1人が親元を離れていることが分かります。その一方、本学の道外からの入学者は今年のアナケートではわずかに16人(2.2%)となっています。学生は道内の他の市町村から他出した一人暮らしであることが分かります。戸締り等の安全管理、地域生活におけるゴミの分別等のルール、夜間の部屋での飲み会における騒音等のマナー違反、是非留意してください。

2019 Campus Data 自転車・自家用車通学率



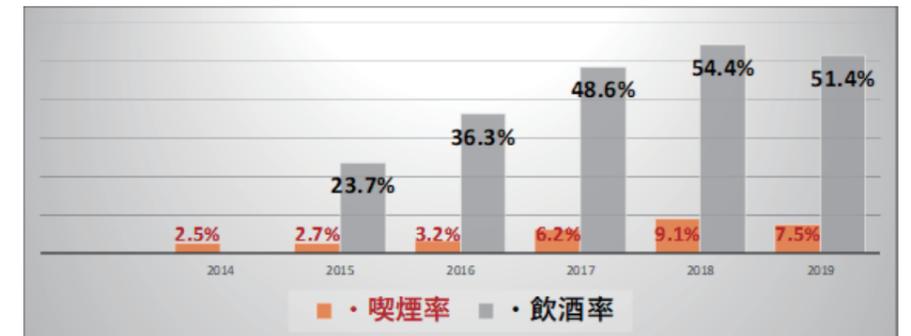
自転車通学は数値的に10人に4人でここ数年安定しています。アンケートで大学に希望する施設にも自転車置き場の整備等は1件もありませんでした。その一方で、10人に1人が利用している自家用車で通学ですが、既にマナーの遵守に関する声が高まっています。特に指定された場所への駐車に関する注意喚起で、アンデルセン福祉村へのドクターヘリの出動が増加しているため、決められた場所でないところに駐車していた自家用車のために、救急搬送が滞る事態が発生しているからです。

今年アンデルセン福祉村内に着陸したドクターヘリ。迅速な救急搬送のためには救急車とヘリとの連携が不可欠です。



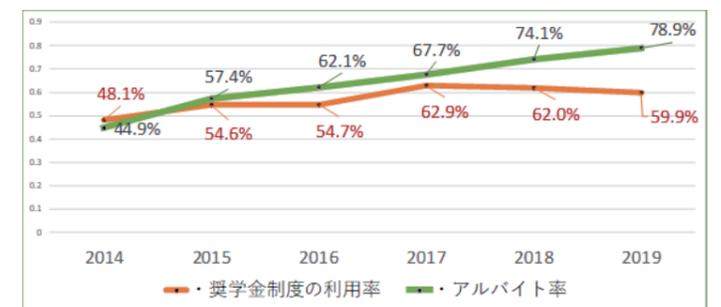
2019 Campus Data 喫煙・飲酒率

いずれも二十歳以上の学生率の高まりで、年々増加の一途をたどっていましたが、今年、初めて減少しました。喫煙に関しては国の健康政策で公的な施設だけではなく、人の集まるレストラン等の場所での禁煙政策も進行しており、皆さんの就職を希望している病院や福祉施設はほとんどが禁煙を義務付けられている職場であろうと推察できます。在学のうちに、飲酒や喫煙のマナーを身に付けることや、健康・環境に配慮して禁煙のための試み始めてみてはどうでしょうか。実は学生委員会には、学生の喫煙に関する注意やお叱りが寄せられています。喫煙率の高い学科、学年には既に学生委員会から指導が入っているとは思いますが、皆様の協力が肝心です。



2019 Campus Data 奨学金・アルバイト率

奨学金に関しては、その返還が困難になった、生活を圧迫しているといったニュースが近年大量に流れているためか、貸与への慎重な態度が見られるようになってはいますが、依然として10人に6人の学生が利用をしています。返還を要する奨学金は、奨学金というより教育ローンのようなものですので、もし重複で利用が必要になった場合は保護者とよく話し合い、返還計画を立てながら利用することをお勧めします。



2019 Campus Data 孤独を感じているかについて

こちらも年々微増していましたが今年若干減少しています。孤独を感じる理由としては以下のような記述が並んでいます。友達がいない、いざこざがあった、一人だから、人が嫌い。人間関係で孤独を感じている学友が皆さんの周りに多くいることを是非留意してください。医療関係者として皆さんが最も伸ばしたい能力は毎年「コミュニケーション力」で今年も424人(58.9%)がそう答えています。是非身に付けたコミュニケーション力を在学中も発揮してください。それでも孤独感にさいなまれている学生は、躊躇せず教職員に相談してみましょう。特にそのために設置している『学生相談室』を利用してはどうでしょうか。

今回のアンケートでは329人(45.7%)の学生が相談室についてほとんど知らないと答えました。もし学内での相談は教職員に知られてしまうのではと利用を控えている学生がいるなら、それは全くの杞憂です。相談内容が他に漏れることは決してありません。



アンケートにご協力いただいた皆様へ

お寄せいただいたアンケートの集計結果は本学のIR室に報告が上がり、様々な改善策が模索されます。ご協力本当にありがとうございました。

第6回 日医祭の開催と報告

日医祭の様子

テーマ：【Have Fun】

主催：日本医療大学学友会本部会
 実施：第6回日医祭実行委員会
 (委員長：リハビリテーション学科2年 千谷 卓充)
 日時：2019年10月4日(金) … 前日準備
 10月5日(土) 11:00～16:30 … 一般公開
 場所：真栄キャンパス(両日)



今年のポスターです。

内容

■ 模擬店、イベント

- ・リハビリテーション学科模擬店 2店
- ・看護学科模擬店 2店 ・看護教員模擬店 3店
- ・事務局模擬店 1店 ・後援会模擬店 1店

■ お笑いライブ

ゲスト：流れ星、お侍ちゃん、リクロジ
 武田舞彩 (オープニングアクト)

■ 第3回フードバンクフェア

収集のための箱を学友本部会ブースに設置し、賞味期限内の保存食料を当日の日医祭参加者に持参してもらい、フードバンク札幌を通して、72時間以内にフードバンクに支援を登録している市内300家庭に届けてもらう活動です。

『フードバンク札幌』 <http://fukushi-life.or.jp/foodbank.php>

■ カラオケ大会

■ 第6回「大学の歩み展」

1号から22号までの学生委員会が発行している「あずまし」の大型パネルの展示をしました。

■ ユニセフ募金活動

本部、模擬店の3ヶ所にユニセフ募金箱を設置しました。
 7,504円の募金が集まり、今後、学友会代表が、募金の受け渡し式に臨みます。



大学の歩み展

今年の日医祭に来てくださったゲスト達です。

